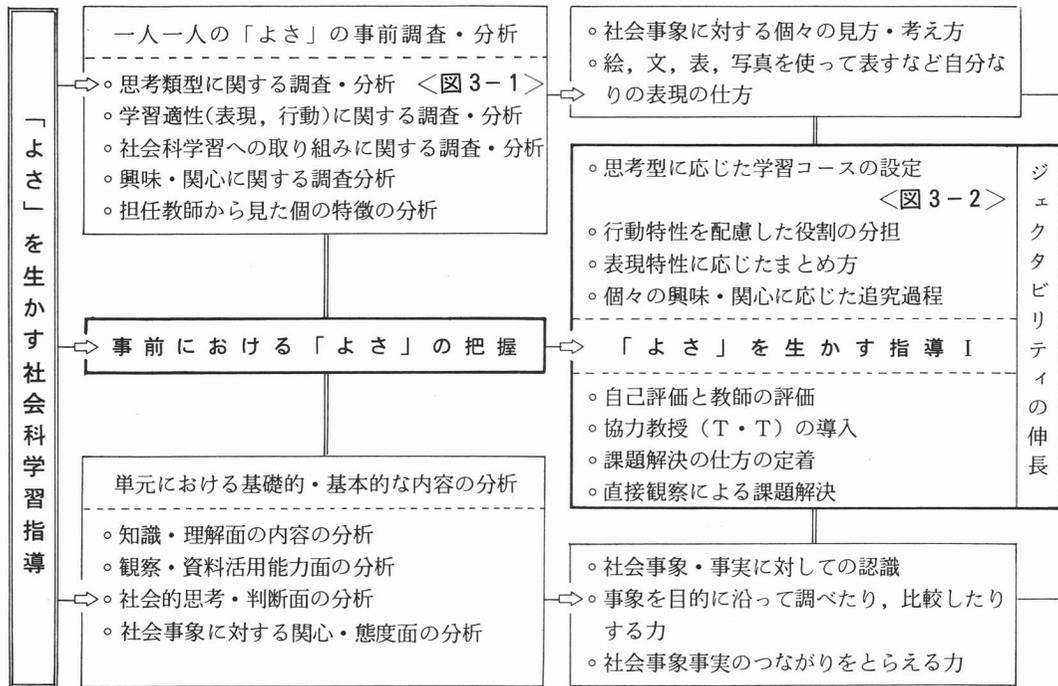


2. 社会科実践研究の構想



事前における「よさ」の把握

児童の思考の型を判断するために, 図3-1のような調査を5回行った。

<図3-1> [思考型の判断=帰納型]

モトはやく向る坂を下るにはどうしたらよいか。

さいしょにつくたのより下のストロとみかかして。

あとがさつたのはいきまきかかないと向らばかたかたしるるのは自分かいてると思う。

おまかせたてはかきかきまはまうまてきまてと思う。

3年 組 男

「よさ」を生かすために

児童の持つ「よさ」を生かすために, 児童の思考の型に応じた学習コースを設定し, 図3-2のような学習のてびきにより, 学習を進めた。

<図3-2> [演繹・反省型の例]

学習のてびき

名前: 3年 組 男

考えるすべからず

こんなことがあったら?

発表をきいてもらって調べてみたいことはなにかをきいてあげたいです。調べたいことはいくつかあります。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。

調べたいことについて、自分たちのよさをきいてみましょう。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。

発表にできる計画をたてましょう。何を調べてくるのか。どこを調べてくるのか。どんな方法で調べてくるのか。

発表にできる計画をたてましょう。自分たちのよさをきいてあげたいです。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。

発表にできたことと自分たちのよさをきいてあげたいです。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。調べたいことをついてみましょう。

みんなにわかるように、くふうして発表しよう。

発表のために調べなければならぬものを、どのように調べたいかをきいてみましょう。